

「しがぎん琵琶湖原則」で、お客さまと手を携えて地球環境保全を

滋賀銀行は、2011年2月5日、6日に、東京大学安田講堂で開催された「ストップ温暖化大賞―低炭素杯2011―低炭素地域づくり全国フォーラム」(主催：低炭素地域づくり全国フォーラム実行委員会)に出場しました。その中で当行は、低炭素社会の構築に向けて、お客さまと手を携えて実践してきた「環境金融」の環の拡がりについて、「しがぎん琵琶湖原則」の取り組みを紹介し、「審査員特別賞」を受賞いたしました。

■低炭素杯に応募した背景

「お金の流れで地球環境を守る」を全国に発信

経済の血液である「金融」の役割を通じて、地球温暖化防止をはじめとする持続可能な社会づくりに貢献できる可能性はますます拡大しています。

当行は、「クリーンバンクしがぎん」を合言葉に、近畿1,400万人の水源地・琵琶湖畔に本拠を置く企業の社会的使命(CSR)として、琵琶湖をはじめとする地球環境の保全に、全行あげて取り組んでおります。

具体的には①省資源・省エネルギーの



「エコオフィスづくり」とともに、②「環境対応型金融商品・の開発・提供」による地域への環境保全活動の働きかけに積極的に取り組んでいます。

その中でも、「低炭素杯2011」では、2005年に策定した「しがぎん琵琶湖原則」と「しがぎん琵琶湖原則支援資金」による、地域のお客さまと手を携えて実践してきた「環境金融」の取り組み、加えて2009年より新たな挑戦としてスタートした「生物多様性格付」を紹介。「お金の流れで地球環境を守る」という思いを、一人でも多くの方に知っていただく貴重な機会と捉え、出場いたしました。

《活動の紹介概要》

■しがぎん琵琶湖原則

地球環境保全への
願いを込めて

地球温暖化が原因と言われる異常気象を数多く目の当たりにする中、「今ならまだぎりぎり間に合う」との強い危機感を持って、滋賀銀行版「赤道(エクエーター)原則」とも言える、「しがぎん琵琶湖原則

(PLB = Principles for Lake Biwa)」を2005年12月に策定しました。

本原則は、①環境配慮行動を組み込んだ生産・販売・サービス基準を策定、②環境配慮行動とビジネスチャンスの両立、③環境リスクマネジメント情報の共有化などを骨子とするもので、お客さまと手を携えて、琵琶湖をはじめとする地球環境保全に向けた取り組みを一層促進していきたい、との思いを込めています。策定以来、この原則への賛同を広く呼びかけております。

■PLB格付・PLB資金

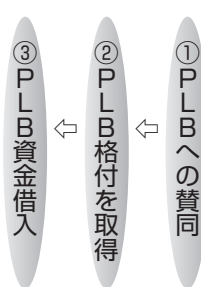
「お客さまの「環境経営」をサポート」

「しがぎん琵琶湖原則」にご賛同いただいたお客さまのうち、希望される方には、当行独自の環境格付である「PLB格付」を実施。お客さまのお取り組み度合いに応じて、最大で年0.5%の金利を引き下げする「しがぎん」琵琶湖原則支援資金(PLB資金)も取り扱っております。この「PLB資金」には、お客さまの「環境経営」を支援し、地域と連携して「持続可能な企業と地域社会」を実現しようとの強い願いを込めています。

《環境格付評価項目》

ISO14001等の認証取得	グリーン調達・グリーン購入の取組
環境会計導入	コンプライアンスの推進部署の設置状況
土壌汚染、騒音、振動等への取組	
環境に配慮した製品・商品の取扱	環境報告書の発行
法令順守方針の策定	投資案件決定時の環境考慮対応
環境方針の策定	温室効果ガス排出量削減への取組
環境保全のボランティア活動	
省エネ・省資源への取組	リサイクルへの取組

《PLB資金ご利用の流れ》



政府は「緑の投資への変革」として、「京都議定書目標達成・特別支援無利子融資制度」を創設しています。この環境格付手法のガイドラインは、当行の「PLB格付」がモデルとして採用されており、PLB格付が日本の環境格付のスタ

■ 取り組みの環の拡がり
環境格付実施
金融機関は59行に

2010年12月末現在、融資累計831件、総額187億円、PLB賛同先数は589先、PLB格付取得先は7,133先にのびります。

《金利引下げ幅》

PLB格付	格付評価	金利引下げ幅
L1	取り組みが先進的	0.5%
L2	取り組みが十分	0.4%
L3	取り組みが普通	0.3%
L4	今後の取り組みに期待	0.2%

■ 生物多様性格付
(PLB格付BD)

生物多様性保全の
普及・啓発をめざして

ンダードになった事は誠に名誉なことです。「PLB格付」を開始した2005年当時は、「環境格付」取り扱い金融機関は当行を含めて2行でしたが、現在は59行と大幅に増加し、「環境金融」の環の拡がりを感じています。

2009年11月には、生物多様性についての独自の評価体系「PLB格付BD (Biodiversity)」の運用を開始しました。これは前述のPLB原則にご賛同いただいたお取引先さまと手を携えて生物多様性を保全するため新設したものです。生物多様性の重要性の「気づき」のツールや、保全活動に取り組みられる際の「道しるべ」として幅広くご利用いただけることを願っています。

生物多様性格付取得先は、2010年12月末現在で1,578先にのびります。近年、お客さまの環境保全意識は一段と高まっています。当行は、環境省認定の「エコ・ファースト企業」として、今後も「環境金融」「環境経営」の更なる充実に向け取り組んでまいります。

《格付評価項目》

分野	評価指標 (概要)
経営方針	1. 「生物多様保全」方針の策定状況
推進・管理体制	2. 推進・管理体制の構築状況
活動の実施	3. 影響の考慮と低減・会費のための行動の有無
	4. ビジネスの中への組み込み状況
	5. 自然再生や伝統文化保全の活動への貢献度
	6. 専門的な知識を有する研究機関等との連携状況
普及啓発・活動発表	7. 社員や取引先に理解を深めるきかの設定状況
	8. 活動や成果の好評状況

